

高商連ニュース

地方別活動交流会(6/17・18)にむけて拡大運動に取り組んでいます

■交流会にむけた拡大状況(4/16現在)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	1	0	0	0	0	1
南国	3	0	0	1	0	3
高知	1	1	1	0	0	0
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	0	0	0	0	0	0
中村	1	0	0	0	0	1
計	6	1	1	1	0	5

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)



春の運動が終わって一息つく間もなく、「第3回地方別活動交流会」にむけて、全国で拡大運動が始まりました。

高知県連の第1次目標は、読者、会員、共済、婦人、青年で前回の全国総会の現勢を突破することです。

4月18日には、拡大推進委員会を開催し、春の運動の読者拡大で全国3位だった奮闘と教訓を交流・討議し、交流会にむけて、「前回現勢の突破、さらには交流会顕彰基準に挑戦しよう」と意思統一しました。

前回現勢突破には、読者133人、会員65人、共済58人、婦人16人、青年2人と、大きな目標にはなりますが、多くの会員の参加で拡大運動をすすめ、役員を交流会に送り出しましょう。

4年ぶりの企画 申告お疲れ 昼食会

4月9日(日)、仁淀川民商の申告お疲れ昼食会が開催されました。

朝から久々の青空が見えて気分も晴やか、暖かい春の陽気です。

会場の三陽荘に着いて、座敷に入ると大きな窓からは外の山が見えました。春風に舞う葉がなんだかきれいでしたよ。

上岡会長の挨拶で食事会がはじまり、おのおのお話で盛り上がりつつ、食事を楽しまれました。私は小学生の娘と年長の息子を連れて参加させてもらいましたが、豪華な食事を前に、「お昼からお刺身に海老天ぶら！好きなものがいっぱいや！」と喜んでいました。途中簡単な自己紹介をして、今回はビンゴゲームもしてみましたよ。

数日前から事務所では、参加してくれるみなさんに少しでも・という事で、参加ありがとう的な少しばかりの品を用意してました。ただ、ビンゴゲームは初めてだったので、少々もたついてしまいましたが、お付き合いいただきありがとうございます。

上岡会長のお話では、仁淀川民商の今回のような懇親会は4年ぶりだそうです。



す。今回は17名の方が参加してくれました。私は2月から民商で働かせてもらっています。会員さんのお名前とお顔が一致しない方がまだたくさんいます。昼食会では、会ったことのない会員さんとも会えて、会員さん同士で情報交換をしたり、お酒も入って楽しんで笑うお顔を拝見できました。人と人がつながっているのは素敵なことだなと改めて思いました。午後2時、最後に集合写真をとって昼食会はお開きになりました。2次会はカラオケ喫茶イエスでという呼びかけに、行く！行く！と楽しそう。おいしい贅料時間でした。日頃の疲れを少しはねぎらえたかな？

また近々、毎年恒例の仁淀川民商バーベキュー大会があるの、みなさんの参加お待ちしています。(事務局 伊東)

憲法施行70周年 県民のつどい

5月3日(水・祝)14時~16時30分
県民文化ホール・グリーン
参加費 1000円
(大学・高校生500円)
講演 現在の政治情勢と市民と野党の共同が目指すべきもの
講師 山口二郎さん(法政大学教授)
※託児所あり(要事前予約)

連休中の高商連事務局の業務

5月1日(月)
・メーデー参加のため事務所は不在
5月2日(火)
・通常業務
5月3日(水)~7日(日)
・休み
長期休暇になりますので、連絡・相談等は早めをお願いします。

民商会員が中心になった企業共同体が開催し11回目

四万十川に愛誓う

四万十市 3組が船上結婚式



屋形船の中で笑顔いっぱい3組のカップル(四万十市佐田)

【幡多】四万十市の(28)、香織さん(30)▽四万十川で10日、恒例の船上結婚式が行われ、県内外の3カップルが清流に永遠の愛を誓った。

式を挙げたのは、四万十市在住の谷吉勇太さん(31)、梢さん(28)▽同市の税所伊織さん(30)の3夫妻。

あいにくの雨にもかかわらず、3組は「やっぱり四万十川は最高の場所。一生懸命に頑張りたい」と幸せいっぱい表情で話し、佐田沈下橋で屋形船に乗船。上

流の三里沈下橋まで約1時間かけて往復する船内で、誓いの言葉と指輪を交わした。

例年行われる三里沈下橋でのフラワーシャワーやパレードは雨のため中止となったが、駆け付けた友人らが大きな拍手で祝福した。

カヌーなどのガイドをしている谷吉勇太さんは「毎日、四万十川に来ているが、今日は川の景色がいつもとは違った。これからは夫婦円満に仲良く過ごしたい」と笑顔で話していた。

船上結婚式は、屋形船業者や衣装店などをつくる「四万十D&H」が毎年、「四万十の日」に行っている。13回目の今年は38組の応募があり、四万十川への思いなどから3組を選んだ。

(山崎友裕)